

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016 年 3 月 2 日

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座・教授
氏名 Name	中川 裕之
専門分野 Academic Field	ドイツ語学/言語学, 外国語教育, 地域研究

主たる研究テーマ Principal Research Subject	多言語多文化国家スイスにおけるレト・ロマン語とドイツ語をめぐる言語社会研究
<p>平成 25 年度から 26 年度にかけて採択された研究推進経費による研究成果刊行助成に平成 27 年度も応募し採択されたことを受けて、引き続き研究の統括と推進を行うことができた。本プロジェクトは、本研究科言語社会専攻ドイツ語部会のドイツ語学/言語学系の教員を中心に、気鋭の研究者たちと連携し、着実に研究成果を重ね、実質的に進められている研究の一形態である。平成 25 年度は音声学研究者と、平成 26 年度は隣接部局の社会言語学研究者と、そして本年度は、研究のグローバル化を重視し、新たに来日したドイツ語ネイティブの美術史研究者を加えて共同研究を実施することにより、研究内容の一層の拡充に成功できたと考える。また、平成 27~28 年度を補助事業期間とする科学研究費基盤研究 (C)「スイスにおけるレト・ロマン語の社会言語学的・異文化コミュニケーション的研究」の研究代表者として、初年度の研究を、順調に進展させることができた。大言語（とりわけドイツ語）に対する小言語（とりわけレト・ロマン語）の諸関係と、異文化コミュニケーション的ディスコースおよびテキスト分析を行った。さらに、海外調査研究教育等支援制度を受けて、通時的な文献学的研究と共時的な社会調査を敢行できた。必要に応じて、国内外の関連分野の研究者たちからレビューを受け、また議論を重ねることにより、過不足ない研究成果を継続的に産出するとともに、次年度以降の、共生可能な多言語多文化論の構築に向けて、基盤整備を行うことができた。</p>	